

# ニハマ写真部

## まち歩き撮影会

垣生地区

2020年11月28日(土)  
14:40~17:10

### 垣生地区について

江戸時代初期(慶長13年)から製塩業で栄えた海沿いの地区。明治44年に廃止された弁財天塩田の跡地は、客土(埋立)をして農地として開発、海岸は漁港が整備され、海水浴場、市営や住友各社の海の家、公園など、時代とともに役目を変えていった。垣生山(標高101.3m)の東側には昭和63年に「新居浜東港」が、平成8年に「マリパーク 新居浜」がオープンし、海の玄関口やレジャースポットとして賑わいをみせている。

#### 1 べざいてん 弁財天公園(石鎚神社)

漁港の造成に伴い、平成2年頃に整備された公園。垣生山にお祀りされていた石鎚神社が公園の一角に遷宮され、海の守り神として地域を見守っている。



#### 2 とまだて 苦立灯台(垣生埼灯台)

垣生山の海側、標高40mの高台に建つ灯台。初点灯は昭和44年。外壁は白いモザイクタイルが全面に張られ、細部まで職人技が光る。江戸時代、西條藩主がお国入りの際、船の到着を知らせるため、大きな白い布を掲げ合図を送っていた場所でもある。



#### 3 いかりいし 錨石(太子堂)

聖徳太子を本尊に祀る「太子堂」境内に残る伝説の石。その昔、近くの海岸に聖徳太子が上陸した際、船を固定するために使ったと伝えられている。同じく境内にある2本のイチヨウの木が、11月下旬に紅葉の見頃を迎える。



#### 4 めのとさん 女乙山 法泉寺

安土桃山時代(天正年間)に開かれたと伝わるお寺。江戸時代(文化3年)に周辺地域で発生した大火災で、救済に尽力した法泉寺へのお礼として、住民から寄贈された手水鉢が現在も使用されている。



#### 5 株式会社 オカベみそ (創業時:岡部哲哉商店)

市内に唯一残るお味噌屋さん。かつては海産物問屋を営んでいた。昭和4年に建てられた店舗や、工場外壁のお味噌汁イラスト付きロゴも味わい深い。建物やロゴにあしらわれた家紋にも注目。



#### 6 垣生漁港周辺の海岸

四季折々に美しい表情をみせる、瀬戸内海を臨む絶景スポット。穏やかな波、遠くに浮かぶ島、行き交う船舶、つづく砂浜。工業都市新居浜を象徴する工場群とともに、夕景撮影に挑戦!



このマークがついているポイントで、写真家 木村孝さんの撮影レクチャーがあります。



苦立灯台 2

漁港をすみかにする猫たち



遊歩道 入口



この看板が目印

弁財天公園・石鎚神社前 スタート&ゴール

1



ダイナミックな景色が楽しめる海岸線

6



入り江にたゆたう漁船

この水路が、かつて弁財天塩田の海水導入溝だった

3 太子堂



紅葉の見頃を迎える2本のイチヨウの木

株式会社 オカベみそ

5



懐かしい酒屋の看板



4 女乙山 法泉寺

Hello! NEW

新居浜